



石橋文化センターアートフェスティバル2022

光とアートに 包まれて

秋のバラ、黄や赤に色づいた紅葉、地元の学生たちとコラボレーションしたライトアップ、さまざまなテーマのアート作品などを楽しめるイベントを開催しています。



⑤ 軽食や雑貨などを販売するマルシェ&カフェ
⑥ アイデアを出し合う附設高等学校・中学校生たち

ポレーション企画です。福岡を拠点に活動し、学術研究員やゲーム開発者、映像ディレクターなどの経歴を持つメンバーで構成されています。面白さ・探究心を追求した遊び心いっぱいの新しい体験を生み出します。これまでとは違う光とアートの融合した作品です。11月20日(日)までの10時から17時までです。ライトアップ開催時は20時まで。

「アノラボ」と久留米大学附設の中・高生がコラボ

久留米大学附設中・高の生徒30

ライトアップを充実
石橋文化センターは、日本庭園完成50周年を記念して、屋外照明設備を増設しました。最新技術を生かして、紅葉や建物が夜空に浮かび上がるようなライトアップを実現。ライトアップは、11月20日(日)までの(金)・(土)・(日)の17時から20時までです。

ライトアップを充実

アートフェスティバル
久留米市美術館の開館を機に始まったアートフェスティバルは、今年で7回目を迎えます。久留米出身や地元で活躍するアーティスト、子どもたち、芸術家を志す大学生などが参加。個性ある作品を園内に展示します。

アートフェスティバル

人が、園内を散策し、どんな生き物が潜んでいるかを発想しました。「アノラボ」メンバー5人と一緒にアイデアを出し合い、最新技術を駆使して、不思議な生き物たちを、夜の石橋文化センターに出現させます。

子どもたちとアーティストの「アート創造プロジェクト」

市内の子どもたちが、坂本繁二郎の代表的なモチーフ「馬」からインスピレーションを受けて作品を制作しました。市内在住の染織作家・中園唯さんを中心に久留米大学美術部がサポート。坂本繁二郎旧アトリエに展示します。

「アーティストを志す大学生などの創作活動支援プロジェクト」

九州産業大学芸術学部が、来園者を撮影して「つながり」を写真で表現します。佐賀大学芸術地域デザイン学部は、マップを制作し、園内のQRコードと連動したオリジナルツアーを実施します。
◎石橋文化センター(0942-332271、FAX 0942-397837)

① ライトアップされた「みどりのリズム」
② 「白鳥の池」の水面に写るライトアップされたイチョウ
③ アート作品とコラボしたコンサート
④ 深く美しい色味が特徴の秋のバラ



秋のバラフェア 11/20(日)まで

■水上ステージコンサート ■11/19(土)、11/20(日)、各13時30分～、15時～ ■日本庭園 ■楽水の池に水上特設ステージを設置し、クラシックコンサートを開催

もみじまつり 12/4(日)まで

■もみじコンサート ■11/23(祝)、12時～、14時30分～ ■ガーデンテラス ■ポークグループ「TEAM SURPRISE (チームサプライズ)」の演奏

美術館の無料・夜間延長開館

■美術館リオープンを記念して、「生誕140年 ふたつの旅 青木繁×坂本繁二郎」と、「石橋正二郎記念館」を無料・夜間延長開館 ■11/19(土)、19時まで

坂本繁二郎旧アトリエ特別公開

■八女市から移築復元したアトリエを期間限定で公開。馬や静物シリーズなど繁二郎の代表作のほとんどが、このアトリエで誕生 ■11/19(土)、11/20(日)、11/23(祝)、11時～15時